年間授業計画 様式例

六本木 高等学校 令和８年度（１年次） 教科 芸術 科目 書道Ⅰ

教 科： 芸術　　科 目： 書道Ⅰ　　単位数： 2 単位

対象年次組：第 1 学年 ～ 第 4 学年 1 組～ 9 組

教科担当者：(水曜5・6限:丹尾)（水曜7・8限:丹尾）（水曜9・10限:丹尾）

使用教科書：（ 書道Ⅰ （東京書籍）　　）

教科 芸術　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			漢仮	漢	仮						
前期	・用具・用材や姿勢・執筆法について理解する。 ・漢字の書体の変遷、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解する。	○書写から書道へ ・書写で学んできたこと ・用具・用材 ・姿勢・執筆法 ○漢字の書 ・漢字の書の成立と変遷 ・拓本		○		○	授業への取り組み ワークプリント 学習成果(課題)	○	○	○	4
	・楷書の古典の基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形を生かした表現を理解する。 ・楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形について構想し工夫しながら臨書作品の制作を行う。	○楷書 ・楷書の特徴 ・表現を比べよう ・「九成宮醴泉銘」 ・「孔子廟堂碑」 ・「雁塔聖教序」 ・「自書告身」 ・「牛撅蔵造記」 ・楷書の作品制作		○		○	授業への取り組み ワークプリント 学習成果(課題・作品)	○	○	○	20
	・漢字の古典や創作作品について考え、意図に基づいた表現について構想し工夫しながら作品を制作する。	○楷書 ・創作 ―古典を生かそう― ・うちわの作品制作		○		○	授業への取り組み 制作カード 学習成果(作品)	○	○	○	14
後期	・行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。 ・行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形について構想し工夫しながら臨書作品の制作を行う。	○行書 ・行書の特徴 ・「蘭亭序」 ・行書の作品制作		○		○	授業への取り組み ワークプリント 学習成果(課題・作品)	○	○	○	12
	・仮名の基本的な用筆・運筆の技能、線質や字形を生かした表現のための技能を身につける。 ・仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。	○仮名の書 ・仮名の成立 ・仮名を書く準備 ・平仮名の単体、変体仮名、連綿 ・「蓬萊切」 ・仮名の作品制作			○	○	授業への取り組み ワークプリント 学習成果(課題・作品)	○	○	○	12
	・用具・用材の特徴と表現効果との関りについて理解できるようにする。 ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現について構想し工夫する。	○漢字仮名交じりの書 ・鑑賞 ―書の美や風趣を味わおう― ・表現を比べよう ・表現の工夫１～４ ・創作 ―言葉と書を調和させよう― 漢字仮名交じりの書作品制作	○			○	授業への取り組み 鑑賞カード 制作カード・草稿 学習成果(課題・作品)	○	○	○	12
	・書写能力を向上させるとともに、目的や用途に即した効果的な表現の技能を身につける。	○生活に広げる ・のし袋の表書き ・葉書や封筒の宛名	○	○		○	授業への取り組み ワークプリント	○	○	○	4 合計 78